

土と基礎

平成27年7月号 第63巻第7号

地盤工学会誌

特集

東日本大震災の災害復旧工事の実績と課題 ダイバーシティ推進のさきにあるもの

Achievements and challenges of recovery
works from the Great East Japan Earthquake
A bright future of the Japanese Geotechnical
Society by the diversity promotion

●編集委員長：渦岡良介 副委員長：笹倉剛

●企画・編集グループ：福永勇介（主査）

●本号特集担当編集委員：長澤正明（主査）

大塚隆人 小林孝彰 仲山貴司 森洋 與田敏昭
木内大介 西村聡 秋山裕紀 原由樹

●講座委員長：野田利弘 委員兼幹事：渡邊保貴・谷川友浩

本号の編集にあたって

平成27年7月号では、「東日本大震災の災害復旧工事の実績と課題」、「ダイバーシティ推進のさきにあるもの」の2つのテーマについて特集いたします。

平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震及び同地震を起源とした大規模な津波（以下、「東日本大震災」という。）により、北関東から東北の広い範囲にわたる社会基盤施設は壊滅的な被害を受けました。河川、道路、橋梁、港湾、鉄道、上下水道等の被害は多岐にわたり、それらの復旧工事も各個に対応しなければなりません。また、がれき撤去作業や全半壊した構造物の解体作業等により労働者が死傷するケースも多く発生しました。地盤工学会誌では、会員の皆様と各社会基盤施設における復旧工事の実績と課題を共有する必要があると考え、東日本大震災の災害復旧工事の状況と対策、復旧技術等について紹介いたします。

また、地盤工学は人々の命と暮らしを守るために欠かせない学問です。地盤工学会の活動目的である「学術技術の進歩への貢献、技術者の資質向上、社会への貢献」を実現するには、私達の学会を性別や年齢、国籍や学歴などに関わらず様々な立場の人々が集い活躍できる場にしなければなりません。地盤工学会では平成16年に人権の尊重という倫理的観点から企画部を主体として男女共同参画に取り組み始めました。平成22年に男女共同参画・ダイバーシティに関する委員会が設立されてからは、多様な立場、価値観、障害の有無等に関わりなくすべての会員にとって魅力ある学会となるよう、試行錯誤を繰り返しながら様々な取り組みを行っています。ダイバーシティの取り組みを始めてから10年が経過し、地盤工学会のダイバーシティ推進の実績と課題、今後の展開について会員と共有したいと考えます。

本号の特集が、会員の皆様にとって有益なものとなることを期待しております。

大塚隆人（おおつか たかひと）

地盤工学会のホームページ URL <https://www.jiban.or.jp/>

国際地盤工学会ホームページ <http://www.issmge.org/>

編集兼発行者：公益社団法人 地盤工学会